
研究報告 「地方財政からみた社会保障政策」

令和8年10月17日

地方公共団体金融機構研究参与
青山学院大学名誉教授
プロジェクト座長 堀場 勇夫

1、プロジェクトの趣旨

- わが国における高齢化社会の進展に伴い、「社会保障政策」は地方自治体の行財政に大きな影響を及ぼしている。
- しかし、国の観点から多くの分析があるにもかかわらず、社会保障政策と地方自治体財政との相互関係については、詳細かつ体系的な分析が十分に行われているとはいえない。
- そこで、地方公共団体金融機構における調査研究の一環として、**社会保障政策が地方自治体の財政に与える影響を包括的に研究するため、研究プロジェクト「地方財政からみた社会保障政策」を設置し、今年度より本格的に調査研究を開始した。**

2、今年度の研究内容について

- 令和8年度からの2年間は、「地方財政からみた社会保障政策」における医療政策を研究対象とする。
- わが国の医療制度は、公的保険制度と公私による医療供給体制によって特徴付けられる。公的保険制度は医療需要に対する給付を保障し、公的医療機関は医療市場において補完的役割を担っている。
- また、種々の公的資金が投入されているにもかかわらず、地方財政を通じた財政支援については、陽表的に考察されてこなかった。
- 本プロジェクトは、わが国の医療制度を踏まえた、理論分析、制度分析及び実証分析を共同で行い、広範かつ総合的な研究を通じて、地方財政の役割と課題を明らかにする。

3、これまでの主なヒヤリング

- 研究に先立ち、わが国の医療制度における現状と制度を理解するため、以下の各テーマについて医療・地方財政の専門家より情報を収集・整理した。
 - ・ 国立社会保障人口問題研究所 泉田信行 部長
「医療サービスの特性と主要国における利用・供給の制度化」
 - ・ 総務省自治財政局調整課 和田雅晴 課長
「地域医療を支える制度・政策」
 - ・ 厚生労働省医政局地域医療計画課 津川卓馬 主査
「医療提供体制について」
 - ・ 全国自治体病院協議会 望月泉 会長
「病院経営危機を乗り越える ～新たな地域医療構想と自治体病院のあり方～」

※開催順。肩書きは当時。

4. 本日の企画セッション

本日のセッションでは、次の3点について報告する。

1. 医療制度に通底する理念と価値基準に関する基礎研究
2. 医療の公的介入の意義に関する理論研究
3. 数量的実証研究に裏付けられた制度研究

4、本日の企画セッションについて ①

① 医療給付と医療供給体制における地方財政の役割

(報告者 愛知大学 國崎稔)

我が国における医療制度は、公的保険制度による給付と公私による供給体制によって運営されている。その給付と供給において公的資金が投入されている。これらの公的資金のうち、地方財政を通じた給付と供給への財政支援については、これまで陽表的に考察されていなかった。

そこで本報告では、**医療制度における地方財政の役割を明らかにするとともに、この考察を通じて、これまでの医療制度に通底する理念と価値基準を明らかにする**。また、地域医療におけるゲートキーパーとしての公的医療機関とこれらの財政支援の関係についても検討する。

4、本日の企画セッションについて ②

② 医療分野への公的介入に関する経済理論からの接近 (報告者 名古屋大学 柳原光芳)

本報告では、健康資本投資、医療における情報の非対称性及び医療システムに関する公共選択問題という各視点からの理論研究に基づき、医療の公的介入の意義を明らかにする。

さらに、医療への公的介入が所得の再分配機能を有することを示すとともに、日本の医療制度についても経済学的視点から再評価する。

4、本日の企画セッションについて ③

③ 地域における医療資源へのアクセスと財政調整

(報告者 大阪経済法科大学 中村和之)

日本の医療サービス供給は公民の混合体制の中で営まれつつ、地域特性を踏まえたサービス供給の保障には地方財政が大きな役割を担っている。

本報告では地方財政を通じた医療を巡る財政調整や再分配に係る制度や実態について、地域医療の中心的な存在である公立病院に着目して検討する。特に、**地方の一般会計による公立病院の経費負担の制度と実態を、医療資源の偏在やアクセシビリティと言った観点も踏まえ数量的に考察する。**

-
- 本報告は、地方公共団体金融機構の研究プロジェクト「地方財政からみた社会保障」の成果の一部である。
 - その内容は全て執筆者の個人的見解であり、地方公共団体金融機構の公式見解を示すものではない。
 - また、報告内容の一部について、会場内でワーキングペーパーとして配布するほか、後日、機構HPに掲載予定。